令和5年3月発行　VOL23

市政報告

仙台市議会議員 田村勝

発行：田村勝 / 住所：仙台市宮城野区福田町 1-9-10 / 電話番号 :090-2275-3540 / メール :mas.tamura@icloud.com

仙台市議会は３月１４日に第１回定例会が閉会し、新年度予算が可決成立しました。一般質問では市役所における不適切な事務処理ミスが続いており、市長に対してはご自身の意識変化を求めました。今後、このような事が起こらないように市長に対しては危機感をもって対応して頂きたいと存じます。また、今回も地元高砂地区の課題についても多数取上げております。

令和５年　第Ｉ回定例会　一般質問

・続く不適切な事務処理に市長の意識の変化を求める
・緑化政策の問題点
・複数の子どもを持つ多子世帯支援 PICK UP
・新型コロナ後遺症相談窓口の周知
・本市初のごみ屋敷件数調査と対策
・ＪＲ福田町駅移設までにかかる期間短縮 PICK UP

議会の動画はこちらから！

～ＪＲ福田町駅の移設までにかかる期間の短縮を求める～

（質問）昨年、ＪＲ仙石線福田町駅の移設時期が示されましたが、その内容は基本協定後、設計、工事を含め概ね１２年～１３年の期間が必要との答弁でした。西側の堀の改修、隣接する踏切の拡張を含め、駅の移設完了時期は令和１８年頃とのこと。この長い期間を過去に遡ると、震災から現在に至るまでの期間です。このＪＲ仙石線は、ご存じの通り列車が津波で流されるなど被害は甚大でしたが、約４年後には、一部区間を高台移転する事業を含め仙石線は全線開通。それがなぜ福田町駅の移設で１２～１３年もかかるのかと、疑問に思う方が殆どです。確かに、移設先にはＪＲ仙石線の操車場がありますし、首都圏のように運休させて工事を行うための迂回できる交通網もございません。しかし、福田町駅においては杖をつきながら慎重に階段を上り下りする方や、片手に子ども、片手にベビーカーをもって階段を上り下りする若いお母さんを見ると、地元の議員として心が痛くなります。市長はこの移転までの期間をどう感じるのか、移設してのバリアフリー化につき工期短縮を求めます。

（答弁）福田町駅の移設や駅周辺施設整備につきまして、完成まで一定の時間がかかるところではございますが、単純な駅舎建替えとは異なり、踏切の拡幅や浸水対策など地域課題の解決もあわせて検討するほか、鉄道を運行しながら、限られた用地の中で、様々な工程を段階的に進めざるをえず、必要となる期間であるものと認識しております。地域の皆様からの早期完成への期待に応えるため、今後の設計の中で、ＪＲ東日本をはじめ関係機関と工事工程や工法など工期短縮にかかる調整を行い、この地域の暮らしやすさの向上につながりますよう、鋭意取り組んでまいりたいと存じます。

（移設先に隣接するＪＲ仙石線操車場）
ＪＲ仙石線福田町駅は現位置でのバリアフリー化が困難ということから駅を移設する事を基本に進めていくことを令和２年２月に仙台市とＪＲ東日本で確認書を取り交わしております。

予算等審査特別委員会／土木費（東部沿岸部の更なる賑わいづくりのために）

・利活用事業の課題や課題共有のための協議会設立について
・東部エリアにおける回遊性の検証と範囲 PICK UP
・賑わいづくりのバロメーター化、訪問者数の把握を求める PICK UP
・県道塩釜亘理線の渋滞対策と市道鍋沼交差点整備後の分析
・仙台塩釜港周辺におけるレンタサイクル事業
・沿岸部の道の駅等の回遊性拠点整備の検討について
・沿岸部の実態・現実、市街化調整区域における規制緩和や国の動向

議会の動画はこちらから！

（質問）以前から東部エリアの回遊性の向上の為、検証が必要だと話をしてきましたが、その回遊性の状況をお示して、次年度、エリアプロモーション推進、交通資源実証実験、マップ製作等を予定しているが詳細をお示し願う。そもそも、一番大事なのは回遊性を向上する為、訪問者数の把握と向上が必要。認識をお示しください。

（答弁）東部エリアの施設来訪者を対象としたアンケートにより、回答者の約 2/3 が複数施設を訪問されていましたが、比較的近隣を回遊される傾向にあること、9 割弱の方が自家用車で沿岸部を訪問されること等を把握しました。これを踏まえ、令和 5 年度、東部エリア内の施設間をレンタサイクルや電動キックボードで巡って頂き、施設間移動や利用頻度、訪問箇所数への影響などを調査する交通実証実験、web サイトや来訪者向けマップ等により東部エリアの魅力を幅広く発信する事業等となっております。より多くの方々に訪問して頂きたいと考えており、訪問者数などの把握に努め、魅力の発信と回遊性の向上に向け取り組んでまいりたい。

主張・意見

・市役所、地域、事業者間で訪問者数の期待値が異なる。
・どの程度の訪問者数を期待するのか、目標化とバロメータ化の議論を！
・訪問者だけではなく、定住する方が増える取組みが必要！
・東部沿岸部に年間何百万人もの方が訪れる賑わいが必要！

予算等審査特別委員会／下水道事業会計（雨水排水施設の整備について）

・白鳥、高砂の福室排水区等、抜本的対策に着手済みの地域の進捗
・白鳥地区における排水路土砂詰まり問題、市道未整備問題について PICK UP
・白鳥地区へ浸水シュミレーションへの影響
・水害常襲地区の排水機能確保のためのパトロールについて
・優先整備地区の未着手の１０地区ついての対策立案状況
・田子地区等の地下調整池の地上有効利用と方向性

令和5年第1回定例会
3月9日
予算等審査特別委員会
下水道
（建設局）

議会の動画はこちらから！
Click

（質問）※パネル提示これは何十年も前から水害に苦労している白鳥２丁目でございます。排水溝が土で埋まっている状況。この地点の改善は。

（答弁）道路を横断する口径 45 センチメートルの管きょが延長約 6 メートルにわたり、土砂で閉塞していたことから、昨年11月に清掃を行った。この箇所は、管きょの前後から土砂が流れ込みやすい状態となっておりますので、土砂が流れ込まないように桝を改良するなど、早急に改善してまいりたい。

（質問）※パネル提示こちらも白鳥２丁目。整備されていない市道です。このような道路についても市道として舗装、排水施設を整備する必要がある。

（答弁）主に宅地の造成を目的とした開発行為によって整備がなされた経緯があり、ご指摘の道路は、今も畑が残るなど、沿道の開発が行われていないことから、幅員も周辺の道路に比べて狭い状況にございます。当該道路の舗装や、排水施設整備といった道路改良工事は、沿道の土地の利用状況の変化などを十分に勘案したうえで、対応を図ってまいりたいと考えております。

予算等審査特別委員会／消防費（津波対応について）

- 宮城県の地震被害想定調査の目的と調査による仙台市の推計死者数 PICK UP
- 避難先として東部道路の活用や、大津波警報時の踏切対応 PICK UP
- 津波避難施設の新規確保や学校施設等の既存の避難先の対応
- 津波避難広報ドローン運用開始後の課題と改善策
- 津波浸水想定伝達システム拡充整備、屋外拡声器の新規設置
- 津波遡上時の七北田川の堤防決壊の可能性について PICK UP
- 地域への今後の周知啓発

議会の動画はこちらから！

（質問）推計結果（地震被害推定調査）のうち、津波を伴った、最も最悪なパターンにおける、本市の推計死者数が公表されておりますが、各区毎にお示しください。

（答弁）津波を伴う海溝型地震で、仙台市内において最大の死者数が想定されるのは、東北地方太平洋沖地震が冬季の夕方に発生した場合で、あくまでシュミレーション上の数字ですが、青葉区で1名、宮城野区で424名、若林区で56名、太白区で25名、泉区で1名の合計507名が見込まれている。

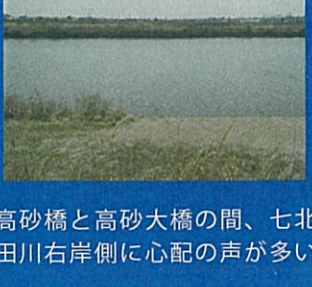
（質問）仙台港周辺は大津波注意報が発令されれば、大混乱が予想される。この地域の高架道路の東部道路の活用を求めておりました。どのような手法が考えられ、課題は。

（答弁）仙台東部道路の活用は、この度の想定で新たに浸水範囲に含まれた地域における避難場所確保のための有効な手段の一つと考えており、この間、道路を所管するNEXCO東日本と複数回にわたり、協議を行っている。協議では、避難階段のように、既に実例のある手法だけでなく、インターチェンジ部分の活用など、新たな取組みについてもその可能性を探っており、その際の安全を確保する上での課題などの整理を行っている。

（高架道路の仙台東部道路）

（質問）震災後の災害復旧事業において、七北田川の河口が整備されているが、七北田川の特に上流から河口に向かっての右岸側について心配の声がある。この右岸側は、高砂橋を境に河口側は護岸ブロック整備している一方で、上流側、要は、港南住宅や上岡田、下岡田側のこの区間の堤防についてはブロック整備がされていない。震災時においても、亀裂が入っていたという証言もあり、他の区間がブロック整備されていることにより、津波遡上時のこの区間への負担が大きくなり、決壊の心配の声が大きいがご見解は。

（答弁）七北田川の河口から高砂橋までの区間では、海岸堤防と同じ高さの海抜7.2メートルで、粘り強い構造の堤防が県により整備されております。堤防の高さは、数十年、百数十年に一定程度の、比較的頻度の高い津波に対応した高さを確保しております。また、高砂橋から上流の高砂大橋までの区間は、震災時に沈下した堤防を以前の高さに戻す復旧工事が行われ、対策が図られたと県から伺っております。ただし、いずれの区間も、新たに県から示された想定では、河川堤防や海岸堤防を越えて浸水することが想定されておりますことから、避難等のソフト対策を組み合わせて対策を講じてまいります。


高砂橋と高砂大橋の間、七北田川右岸側に心配の声が多い
（左岸側／高砂中側から右岸を撮影）

～複数の子どもがいる世帯、多子世帯への大胆な支援を求める～

（質問）東京都は令和元年度から、国の助成に上乗せする形で、第１子の年齢に関わらず第２子の保育料を半額助成し、第３子以降は無償化する独自事業を始めている。そして次年度から全額助成し、第２子の保育料を一律無料とすることを予算化している。東京都だけではなく、同じ政令市の福岡市、静岡市、同じ東北でも盛岡市がこの制度を新年度へ予算化しております。残念ながら本市は新年度に予算化をしていない。仮に予算化した場合の事業費や支給対象世帯、この制度を導入した場合、対象世帯はどの程度負担軽減になるのかお示しください。未就学時期における子どもにかかる出費もそうですが、子どもが成長するにつれて習い事、中学生になれば部活動関係の出費が多いのには驚かされます。子ども一人でも負担が大きいところ、子育てしている家庭の中でも特に支援が必要なのは、子どもが複数の世帯でございまして、大胆な支援を早急に行うべきと考えます。どのように取り組んでいくのかを市長に伺います。

（答弁）複数の子どもを育てるご家庭にとっては、経済的、身体的に様々なご負担もあると考えるところであり、寄り添った適切な支援が必要と認識している。これまでも、”のびすく”や子育て支援センターにおいて多子世帯への相談対応を行うとともに、多胎家庭への一時預かり、育児ヘルパー派遣等の利用料の軽減や、第三子以降への小学校入学祝金の給付など、様々な面から支援を進めてきたところであり、引き続き、多子世帯への支援に取り組んでまいりたい。

第2子保育料を無償化した場合
- 適用世帯　約3，300世帯
- 必要額　約8億1千万円
- 負担軽減　約2万円／月・世帯

ご存知、ですか!? ～7月に高砂中央公園の一部が開放されます～

今年７月に高砂中央公園が一部開放されます。整備完了後はレクリエーションや環境、防災等の機能を備えた仙台市東部地区を代表する「緑の拠点」となり、震災からの復興を担う公園となります。うみの杜水族館に隣接する部分が、今年４月に始まる全国都市緑化フェア仙台の東部会場となりますが、その後、７月より一部が開放されます。今後、子どもから高齢者まで多様な世代が親しみ、快適に過ごすことができる交流と賑わい空間が創出されます。

多目的広場
野球、ソフトボールができるほか、令和３年６月の仙台市議会本会議で提案した、サッカー（少年用）が利用できる天然芝スペースが実現しました。

遊びの広場
大型遊具やふわふわドームの他、令和３年２月の仙台市議会本会議で提案した、インクルーシブ遊具の導入が実現しました。

高砂中央公園管理センター
管理センターには管理者が配置されるほか、授乳室やおむつ替えスペース、更衣室にはシャワールームも完備されております。

最新の活動はこちらから！

Facebookにページを開設しております。
仙台市議会議員　田村勝　Facebook
仙台市議会議員　田村勝　検索